

令和4年度 竜丘公民館 事業計画（案）

総事業費 6,388千円（うち、公民館6,068千円、特別委員会320千円）

★基本方針

市民憲章の精神、飯田市公民館基本方針及び竜丘地区基本構想に基づき、地域住民が心地よく暮らしていけるよう、歴史から学び、現状を知り、皆さんが参加しやすく、そして、楽しんで関わり合える公民館事業活動を推進する。

ロマン溢れる学びの丘

『知りあって 触れあって 学びあおう』

～心豊かな地域と人づくりをめざして～

【住民主体の地域課題の具現】

- 地域のもつ固有の歴史と文化的環境を基盤にして、住民の課題と願いの具現に努める。
- 地域課題に関わる学習を展開するとともに、住民主体の地域づくりの土壌を育む。

【学びの重視】

- 各委員会事業を通じ、学習の場を積極的に提供するとともに、住民のふれあいから地域の和を創造する「学びの丘」を目指す。

【次世代の育成】

- 「子どもは地域で育てる」を基調として、家族や地域のふれあいを大切にし、共に学び育つことができる事業を、学校などと連携して行う。
- 若者が地域で学べるように、若者が集い、話し合い、地域に関われるよう支援する。

【分館・社会教育関係団体への支援】

- 住民にとって最も身近な分館活動の充実に資するため、必要に応じた支援を行う。
- 住民や社会教育関係団体等が、活発かつ自主的な運営ができるよう適切な支援を行う

【公民館の管理】

- 住民の学びの拠点である公民館施設の適正な維持管理に努める。

文化委員会 825千円

1 活動方針

手づくりの文化活動を大事にし、地域住民の交流と学習の場を幅広く提供していく。事業実施にあたって、地域や生活における課題については、自らが参画、体験し、より良い地域づくりへのきっかけとなるような働きかけを行っていく。また、多様な文化に触れる活動を通して、心豊かな地域を育んでいく。

2 事業計画

竜丘市民大学講座、ふるさとコンサート、人形劇フェスタ、文化祭、丘のふれあいコンサート、竜丘地区二十歳の集い（成人式）

体育委員会 675 千円

★1 活動方針

スポーツを通じて、地域住民の親睦交流と健康の維持増進を図り、活力ある地域づくりにつなげる。事業実施にあたっては、分館活動と密接な連携を保ちながら、感染予防対策を講じ、子どもからお年寄りまで多くの地域住民が参加し、楽しめる体育活動を企画運営する。また、ニュースポーツの普及につとめる等、地域の社会体育活動がより活発化するような種々の働きかけを行う。

★2 事業計画

夏季スポーツ大会、竜丘市民運動会、冬季スポーツフェスティバル、文化祭、ニュースポーツ普及、飯田市女性バレーボール大会、Cブロック女性バレーボール大会

広報委員会 500 千円

1 活動方針

紙面を通じ、竜丘地区の現況を地域に伝達するとともに、地域課題・生活課題について問題提起をしていく。また、地域情報や身近な話題を盛り込むなどして、広い層に読みやすく親しまれるような紙面づくりに努める。

2 事業計画

館報発刊 年5回（カラー対応）、委員研修、ホームページの活用

育成委員会 520 千円

★1 活動方針

青少年が本来持っている好奇心を最大限に尊重しながら、地域の歴史を学び、文化遺産に触れ、伝統行事への参加などを通じ、地域社会と関われる機会を積極的に提供する。青少年が社会との関わりを認識し、社会との関わりの中で自己実現を図り、社会的自立を目指す意欲に結びつくよう援助する。竜丘の多様な年齢層の大人たちが「地育力」を発揮し、青少年の育成に積極的に関わり、青少年を「地域の子」として育てるような価値観が共有できるように努める。

★2 地域の子育て像

ふるさと竜丘の特色を活かし、たくましさと思いやりの心を育む

★3 事業計画

竜丘古墳まつり、竜丘あいさつ運動、水辺の楽校維持管理及び生物・科学教室

民俗資料保存委員会 90 千円

1 活動方針

地域の有形・無形の民俗資料を後世に伝えるための資料収集・保存活動を行うとともに、それらを広く公開していく。また、竜丘児童自由画保存顕彰委員会へ参画していく。

2 事業計画

民俗資料の保存（虫干しと整理）・展示方法の検討・既存資料を活用した体験学習「丘の語部」発行に向けた準備、委員会創立50周年事業

学級・講座等 2,075 千円

1 活動方針

飯田市の公民館基本方針にのっとり、事業を展開する。

2 事業計画（※基本構想関連事業（小中学校との地域連携事業）は★）

乳幼児学級、大人の学校、日本語教室、青年学級、Cブロック公民館事業、★コミュニティスクール推進事業、視察研修事業、分館補助、団体支援、★丘のみちしるべ活用、分館学習会支援

公民館管理等 1,383 千円

1 活動方針

地域住民、関係者等が快適に利用しやすいよう適切な公民館管理を行う。

2 事業計画

清掃費、公民館維持管理、公民館備品購入、インターネット事業、書籍購入

特別委員会 竜丘古墳の会 260 千円

★1 活動方針

古墳は竜丘の文化の奥深さと文化性の高さを意味するものであり、竜丘の特徴であり財産である。この古墳を、「将来にわたり守るべきもの」として、地域全体で共有できるようにしていくために、古墳に親しみ、学び、誇りに思い、守っていく気運を高めていけるような活動を行う。

★2 事業計画

学習事業、塚原二子塚古墳公園推進、調査広報、古墳まつり、その他

特別委員会 竜丘児童自由画保存顕彰委員会 60 千円

★1 活動方針

竜丘の「大正期」を語る遺産・文化財の象徴といってもいい児童自由画を、未永く保存顕彰していくことを目的とし、原画の適切な保存と、自由画の調査研究、レプリカの活用、『木下紫水物語』の活用、竜丘小学校沿革絵図の保存・活用などの顕彰活動を行う。

★2 事業計画

調査保存研究、レプリカ・木下紫水物語の活用、竜丘小学校の沿革絵図保存・活用

その他

竜丘小学校開校 150 周年記念事業に向けた資金の積立て

★社会教育関係団体の支援 ほか

～竜丘公民館精神的支柱～

○村行政が村を守る父親とすれば、公民館の運営が村を育つる慈母である

○公民館には特定の役者も演出家も用意されていない。舞台装置も脚本も何もかも一切合財皆がやるのだ。そして観客は一人もいないのである。おもしろい芝居を見ようとするのではなく、良い芝居を演じようとするものである。公民館には観客が一人もいないのである。